

平成22年度 福井県公立学校教員採用選考試験

1 受験資格

(1) 一般選考

- ア 学校教育法第9条および地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当しない者で、次のイおよびウのいずれにも該当する者が受験できます。
- イ 受験する校種・職種・教科に相当する教諭の普通免許状または養護教諭の普通免許状を所有する者または平成22年3月31日までに取得見込みの者
- ウ 昭和25年4月2日以降に生まれた者（平成22年4月1日現在60歳未満の者）

(2) 身体障害者特別選考

- ア (1)の一般選考の受験資格に該当する者で、次のイおよびウのいずれにも該当する者が受験できます。
- イ 自力により通勤ができ、かつ、介護者なしに職務の遂行が可能な者
- ウ 身体障害者手帳の交付を受け、その障害の程度が1級から6級までの者

(3) 平成22年度大学院修士課程修了時特別選考

- ア (1)の一般選考の受験資格に該当する者で、次のイおよびウのいずれにも該当する者が受験できます。
- イ 平成21年度福井県公立学校教員採用志願者選考試験において、平成22年度福井県公立学校教員採用選考試験の特別選考受験を認められた者
- ウ 平成22年3月31日までに、選択して受験した専門教科の専修免許状を取得見込みの者

2 受験手続

(1) 志願書等受付

- ア 志願者は、次の(2)提出書類を、平成21年5月25日(月)から6月5日(金)17:00(時間厳守)までに、学校教育振興課に提出してください。
郵送の場合は必ず書留にし、特に、6月3日(水)から6月5日(金)までの間の郵送については、書留速達としてください。郵送の場合は、6月5日(金)の消印のあるものまで有効とします。
- イ 提出書類は、一括して提出してください。

(2) 提出書類

- ア 平成22年度福井県公立学校教員採用志願書
所定の用紙に必要事項を記入し、写真を貼ったもの(折り曲げないでください。)
- イ 平成22年度福井県公立学校教員採用志願者登録票(記入例にならって記入してください。)
- ウ 最終卒業(修了)または卒業(修了)見込学校の成績証明書(平成21年発行で厳封されたものまたは複写防止の処理がなされたもの)
大学院修了および在学中の者は、更に出身大学の成績証明書(平成21年発行で厳封されたものまたは複写防止の処理がなされたもの)
ただし、通信教育等で2以上の大学を卒業または卒業見込みの者は、各大学の成績証明書(平成21年発行で厳封されたものまたは複写防止の処理がなされたもの)
- エ 返信用封筒 **3枚(長形3号12cm×23.5cm)**(住所、氏名「様」を記入し、90円切手を貼った、糊付きワンタッチシールのもの)
- オ 受験票(所定の用紙に氏名、受験する専門教科名等を記入し、写真を貼ったもの)
*受験票は、受付締切日後に受験者あてに返送します。受験票が**7月9日(木)**までに届かない場合は、学校教育振興課まで連絡してください。
- カ 第1次選考免除調書A(英語・保健体育・芸術の第1次選考免除を希望する者)
*芸術は「音楽」「美術」のみ

- キ 第1次選考免除調書B（国際貢献活動経験者の第1次選考免除を希望する者）
- ク 第1次選考免除調書C（他都道府県現職教員の第1次選考免除を希望する者）
- ケ 第1次選考免除調書D（講師等経験者の第1次選考免除を希望する者）
- コ 身体障害者を対象とした選考申請書（身体障害者特別選考を希望する者）
- サ 大学院修士課程修了時特別選考申請書（平成23年度・24年度大学院修士課程修了時特別選考を希望する者）
- シ 大学院修士課程在学証明書（大学院修士課程1年在学者で平成23年度修士課程修了時特別選考を希望する者）

3 選考試験

(1) 一般選考

①第1次選考

ア 受験する試験内容等

- (ア) 一般教養
- (イ) 教職専門
- (ウ) 体育実技 ……体力テスト（種目は当日指示します。）

②第2次選考……第1次選考の合格者に、合格通知の中で日程その他を連絡します。

ア 試験内容等

- (ア) 個人面接および場面指導
- (イ) 適性検査
- (ウ) 作文
- (エ) 選択して受験する専門教科等

- (a) 中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭（または、盲学校教諭、ろう学校教諭、養護学校教諭）および養護教諭の各免許状所有者（取得見込者）は、次の専門教科の中から、所有免許教科の一つを選択して受験してください。

国語、社会、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、農業、工業、商業、水産、英語、福祉、特別支援学校教諭に関する専門教科（以下「特支」という。）および養護教諭に関する専門教科（以下「養教」という。）

ただし、地理歴史および公民は、地理歴史または公民のみの免許状所有者（取得見込者）に限り選択することができます。

※ 例：社会と地理歴史、社会と公民および社会と地理歴史と公民の免許状所有者（取得見込者）は社会で受験。また、地理歴史のみの免許状所有者（取得見込者）は地理歴史で、公民のみの免許状所有者（取得見込者）は公民で受験

- (b) 小学校教諭のみの免許状所有者（取得見込者）および前記（a）以外の専門教科と小学校教諭の免許状所有者（取得見込者）は、小学校学習指導（以下「小学校」という。）を受験してください。

※例：小学校教諭と保健の免許状所有者（取得見込者）は「小学校」で受験

- (c) 筆記試験は、すべての専門教科等で実施します。

- (d) 実技試験等は、「小学校」、「音楽」、「美術」、「保健体育」、「家庭」および「英語」において実施します。実技試験等の主な内容は次のとおりです。

| 対 象 | 実 技 試 験 等 の 主 な 内 容 |
|---------------|--|
| 「小学校」 受験者 | <p>ピアノ実技</p> <p>(1) 次の曲の中から当日指定された1～2曲を演奏します。 A段階：「バイエルピアノ教則本」から、75番、78番、88番、96番（すべて原著番号） B段階：「ブルグミュラー25の練習曲」から、「3 Pastorale」、「5 Innocence」、「13 Consolation」 C段階：「ソナチネアルバムⅠ」から、No. 4の第1楽章(クーラ)、No. 14の第1楽章(モーツァルト)、No. 15の第1楽章(ベートーヴェン) なお、楽譜は受験者が希望する段階のものを持参してください。</p> <p>(2) 次の小学校歌唱教材の中から、当日指定された1～2曲を演奏します。 ・「春がきた」（2年生歌唱共通教材） ・「ふじ山」（3年生歌唱共通教材） ・「おぼろ月夜」（6年生歌唱共通教材） なお、楽譜は本実施要項に添付したものを使用します。</p> |
| 「美術」受験者 | <p>(1) デッサン (2) デザイン</p> |
| 「保健体育」 受験者 | <p>共通3種目、選択2種目の合計5種目の実技試験を行います。共通種目は、水泳(泳法は自由)、陸上競技(ハードル)、器械運動(マット運動)とします。選択種目は球技(バレーボール、バスケットボール、サッカー)の中から1種目、武道・ダンス(柔道、剣道、剣道、舞踊)の中から1種目、当日受験者が選択します。</p> |
| 対 象 | 実 技 試 験 等 の 主 な 内 容 |
| 「音楽」受験者 | <p>(1) 弾き歌い 次の中から、当日指定された曲を自らのピアノ伴奏で主旋律を歌います。 ・「赤とんぼ」（三木露風作詞・山田耕筰作曲） ・「早春賦」（吉丸一昌作詞・中田 章作曲） ・「夏の思い出」（江間章子作詞・中田喜直作曲） ・「花の街」（江間章子作詞・團伊玖磨作曲） ・「浜辺の歌」（林 古溪作詞・成田為三作曲） なお、伴奏は原曲または教科書によることを原則とします。ただし、移調は可とします。</p> <p>(2) 器楽演奏 当日指定された曲をソプラノリコーダーおよびアルトリコーダーにより演奏します。</p> <p>(3) 自由演奏 各自の選曲により声楽または器楽(和楽器を含む)のいずれかを演奏します。 なお、自由演奏に限り伴奏者の同伴を可とします。</p> |
| 「家庭」受験者 | <p>(1) 食物 (2) 被服</p> |
| 「英語」受験者 | <p>英語による口頭試問</p> |

(2) 平成22年度大学院修士課程修了時特別選考 (平成21年度福井県公立学校教員採用選考試験において、平成22年度福井県公立学校教員採用選考試験の特別選考受験を認められた者)

ア 試験内容等

(ア) 個人面接

(イ) 適性検査

(ウ) レポート

(a) 内容・・・「大学院修士課程で学んだこと」について

(b) 様式・・・400字詰め原稿用紙3枚程度

または、A4用紙横書き(40字×30行)1枚程度

(c) 提出期限・・・平成21年7月21日(火)17:00まで

(d) 提出先・・・福井県教育庁学校教育振興課人事給与グループ

イ 試験期日および場所(7月下旬に日程その他を連絡します。)

(ア) 期日・・・平成21年8月6日(木)

(イ) 場所・・・福井県立高志高等学校(福井市御幸2丁目25-8)

4 試験日の携行品等

(1) 第1次選考

| 対 象 | 携 行 品 |
|-------|---|
| 受験者全員 | <ul style="list-style-type: none"> ・受験票 ・筆記用具(消しゴムおよびHB程度の濃さの鉛筆) ・体育のできる服装(トレパン、トレシャツ、内ズック等) ・上履きおよび下足入れ袋 |

(2) 第2次選考

| 対 象 | 携 行 品 |
|------------------|--|
| 受験者全員 | <ul style="list-style-type: none"> ・受験票 ・筆記用具(消しゴムおよびHB程度の濃さの鉛筆) ・上履きおよび下足入れ袋 |
| 「音楽」受験者 | <ul style="list-style-type: none"> ・ソプラノリコーダーおよびアルトリコーダー(両方とも) ・自由演奏のときに使用する楽器(ピアノを除く)および提出用楽譜(声楽および器楽の受験者とも、当日1部(コピー可)用意してください) |
| 「美術」受験者 | <ul style="list-style-type: none"> ・H～5Bの鉛筆 ・定規 ・コンパス ・不透明水彩絵具(12色) ・色鉛筆(12色) ・筆(各種) ・筆洗バケツ ・パレット ・のり ・はさみ |
| 「保健体育」 受験者 | <ul style="list-style-type: none"> ・トレパン ・トレシャツ ・ズック(内外)等 ・水泳着および水泳帽 ・柔道着、剣道防具等(選択者に限る) |
| 「家庭」受験者 | <ul style="list-style-type: none"> ・エプロン ・裁縫道具{はさみ(布裁断用、糸切り用)、縫い針(長、短)、まち針} |
| 「商業」受験者 | <ul style="list-style-type: none"> ・電卓またはそろばん |
| 「技術」・「工業」 受験者 | <ul style="list-style-type: none"> ・電卓 ・直定規 ・コンパス |

5 第1次選考免除

(1) 免除される条件

1の受験資格のすべてを満たす者で、次のアからウまでのいずれかに該当するものは、第1次選考試験が免除されます。

ア 特に秀でた技能や実績、資格等を有する者

(ア) 「英語」の受験者のうち次に掲げる実績を平成19年4月1日以降に取得した者

(a) 実用英語技能検定((財)日本英語検定協会)1級

(b) TOEFL(国際教育交換協議会)600点(CBT250点)以上

(c) TOEIC(財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会)900点以上

(イ) 「保健体育」の受験者のうち次に掲げる実績を平成16年4月1日以降に収め、それ以後も引き続き活動を続け全国大会等に出場している者

(a) 国際レベルの大会(オリンピック大会、アジア大会およびこれに準ずる大会)に日本代表として出場した者

(b) 全国レベルの大会(日本選手権大会およびこれに準ずる大会)において優秀な成績を収めた者(ただし、団体種目については正選手として出場した者に限る)

(ウ) 「音楽」または「美術」の受験者のうち次に掲げる実績を平成16年4月1日以降に収め、それ以後も引き続き活動を続け全国レベルのコンクール、展覧会等に出場している者

(a) 国際レベルのコンクール、展覧会等で優秀な実績

(b) 全国レベルのコンクール、展覧会等で極めて優秀な実績

(エ) 国際貢献活動経験者

独立行政法人国際協力機構法(平成14年12月6日法律第136号)の規定に基づく青年海外協力隊員として平成16年4月1日から平成22年3月31日までの間に2年以上の派遣実績を有する者。(廃止前の国際協力事業団法の規定に基づく派遣を含む。)

イ 現に他の都道府県の国公立学校に勤務している教諭または養護教諭

ウ 講師等経験者

次のいずれかの条件に該当する者。

(ア) 平成21年度教員採用選考試験第2次選考(平成20年8月実施)受験者のうち、当該試験受験後に福井県内の学校(学校教育法第1条に規定する学校)において、講師等の勤務実績がある者。

(イ) 現在教職大学院(専門職大学院設置基準に基づき設置された教職大学院)在学2年次の者で、平成20年度または平成21年度教員採用選考試験を受験し、そのうち直近の試験において第2次選考試験を受験し、専修免許状を平成22年3月31日までに取得見込みの者。

講師等経験による免除は連続する3回までとします。ただし、(イ)の条件に該当する者については、平成21年度の教員採用選考試験を受験していなくても免除を受けることができます。

(2) 提出書類

ア 前記(1)免除される条件ア(ア)(イ)(ウ)のいずれかに該当する者は、所定の「第1次選考免除調書A」および次の書類等を2の受験手続(2)の提出書類ア~オに加えて提出してください。

(ア) 「英語」の受験者は、実施団体の発行する資格証明書(開封無効)または資格を証明できる書類の写しを提出してください。ただし、写しの提出者は、6月12日(金)までに、原本を学校教育振興課へ持参し照合してください。

(イ) 「保健体育」の受験者は、前記(1)免除される条件ア(イ)に掲げる大会の賞状の写し、競技団体が発行する成績証明書(開封無効)または日本代表として出場したことを証明する書類(開封無効)を提出してください。ただし、写しの提出者は、6月12日(金)までに、原本を学校教育振興課へ持参し照合してください。

(ウ) 「音楽」または「美術」の受験者は、前記(1)免除される条件ア(ウ)に掲げるコンクールや展覧会の賞状の写しまたは団体が発行する成績証明書(開封無効)を提出してください。ただ

し、写しの提出者は**6月12日(金)**までに、原本を学校教育振興課へ持参し照合してください。

イ 前記(1) **免除される条件ア(エ)**に該当する者は、所定の「第1次選考免除調書B」を**2の受験手続(2)**の提出書類**ア～オ**に加えて提出してください。さらに、独立行政法人国際協力機構が発行する証明書を**6月12日(金)**までに提出してください。

ウ 前記(1) **免除される条件イ**に該当する者は、所定の「第1次選考免除調書C」を**2の受験手続(2)**の提出書類**ア～オ**に加えて提出してください。

エ 前記(1) **免除される条件ウ**に該当する者は、所定の「第1次選考免除調書D」を**2の受験手続(2)**の提出書類**ア～オ**に加えて提出してください。

(3) 第1次選考免除の通知

提出された書類等により、第1次選考免除対象者を決定します。その結果は受験票送付時に通知します。なお、第1次選考免除対象者にならなかった場合には、第1次選考を受験してください。

6 採用予定者数 (採用予定者数には身体障害者特別選考、平成22年度大学院修士課程修了時特別選考も含む。)

(1) 小学校、中学校および県立学校 (特別支援学校を含む。) の教諭 約140名

(2) 養護教諭 約10名

7 選考結果の通知

(1) 第1次選考の結果

選考結果は平成21年7月29日(水)までに第1次選考受験者全員に通知するとともに、合格者の受験番号を福井県のホームページに掲載します。なお、合格者には第2次選考の日程、会場等を同封します。(通知書が**7月30日(木)**を過ぎても届かない場合は、学校教育振興課へ問い合わせてください。)

(2) 第2次選考の結果

ア 選考結果は平成21年10月中旬に第2次選考受験者全員に「採用内定」「辞退があれば採用」または「採用の見込みなし」を通知するとともに、合格者の受験番号を福井県のホームページに掲載します。(なお、通知前の問い合わせには応じません。)

イ 日本国籍を有しない者を採用する場合は、任用の期限を付さない常勤講師とします。

ウ 平成22年度大学院修士課程修了時特別選考受験者および講師等経験者(イ)による第1次選考免除者が、平成22年3月31日までに専修免許状を取得できない場合は「採用内定」を取り消します。

8 選考結果の情報提供

第1次選考および第2次選考の不合格者で選考結果の情報提供希望者には、下記の選考結果を通知します。情報提供の希望者は、志願書の選考結果の情報提供希望欄に記入してください。

ア ランク A (不合格者の上位)、B (不合格者の中位)、C (不合格者の下位)

イ 点数 第1次選考・・・一般教養、教職専門の各点数および合計点数
第2次選考・・・専門教科、面接、作文の各点数および合計点数

9 大学院修士課程修了時特別選考（平成23年度・24年度実施）について

平成22年度教員採用試験（平成21年実施）を受験した大学院修士課程（以下「大学院」という。）進学希望者および在学者で、大学院修了後の採用を希望する者が、下記1または2に該当する場合には、大学院2年次において特別選考を受験することができます。特別選考では、大学院における履修状況の確認や適性検査、個人面接などを行う予定ですが、必ず当該年度の実施要項で確認してください。

ただし、特別選考の実施年度において、平成22年度教員採用試験で選択して受験する専門教科が無い場合は、特別選考の受験資格は無くなります。

制度の詳細は、以下のとおりです。

A 大学院進学を理由に採用を辞退する者の特別選考（現大学4年生対象）【平成24年度特別選考】

(1) 特別選考受験条件

次の①、②の両方に該当していることが必要です。

- ① 平成22年度教員採用試験における採用内定者であって、大学院進学を条件に採用内定を辞退した者
- ② 平成24年3月31日までに、平成22年度教員採用試験において選択受験した専門教科の専修免許状を取得見込みの者

(2) 手続

- ① 平成22年度教員採用試験出願時に志願書の平成23年度・24年度大学院修士課程修了時特別選考希望欄の「希望する」を○で囲むとともに、「大学院修士課程修了時特別選考申請書」を提出してください。
- ② 第2次選考の結果発表前に、大学院に合格した者で、採用内定を辞退し、2年後の特別選考を希望する者は、第2次選考の結果発表後10日以内に所定の用紙（第2次選考結果通知時に送付）で申請してください。
- ③ 第2次選考の結果発表後に、大学院に合格した者で、採用内定を辞退し、2年後の特別選考を希望する者は、大学院の合格発表後10日以内に所定の用紙（第2次選考結果通知時に送付）で申請してください。

(3) その他

平成24年3月31日までに、専修免許状が取得できない場合は採用されません。

B 大学院在学中の受験者で、大学院修了後の採用を希望する者の特別選考（現大学院1年生対象）

【平成23年度特別選考】

(1) 特別選考受験条件

次の①、②の両方に該当していることが必要です。

- ① 平成22年度教員採用試験において、「平成23年度特別選考受験を認める」旨の通知を受けた者であって、大学院修了後の採用を希望する者
- ② 平成23年3月31日までに、平成22年度教員採用試験で選択受験した専門教科の専修免許状を取得見込みの者

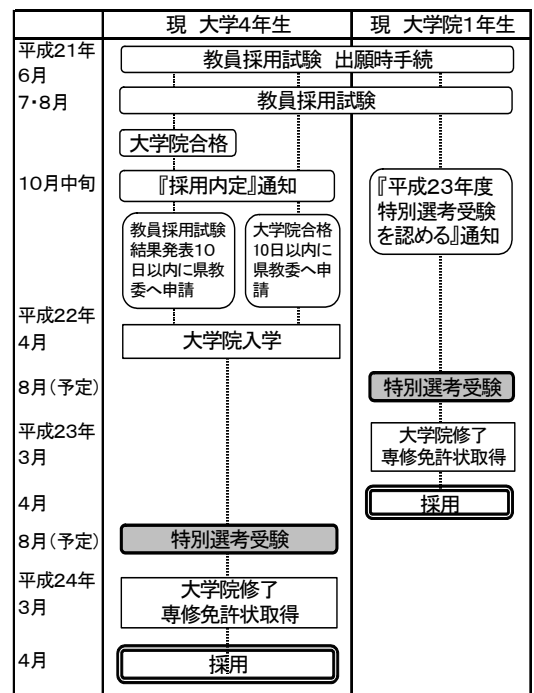
(2) 手続

平成22年度教員採用試験出願時に志願書の平成23年度・24年度大学院修士課程修了時特別選考希望欄の「希望する」を○で囲むとともに、「大学院修士課程修了時特別選考申請書」および「大学院修士課程在学証明書」を提出してください。なお、この手続をした場合には、平成22年度に採用されることはありません。

(3) その他

平成23年3月31日までに、専修免許状が取得できない場合は採用されません。

『大学院修士課程修了時特別選考』の主な流れ



10 試験問題、解答例、配点の公表について

- (1) 試験問題（場面指導の課題用紙は除く。）は当日持ち帰りが可能です。
- (2) 解答例および配点は、採点終了後、県政情報センター（県庁1階）で公開するとともに福井県のホームページに掲載します。

11 その他

- (1) 身体に障害等があり、試験会場において特に配慮を必要とする者は、出願時にその旨を文書（様式自由）で申し出てください。（身体障害者を対象とした選考申請書を提出した者は必要ありません。）
- (2) 受理した提出書類等は返却しません。
- (3) 出願後に改姓した場合または連絡先の記載事項に変更が生じた場合は、必ず文書で申し出てください。